

○本校が取り組むフリートーク:「お題に沿って、児童が自由に自分の考えを伝え合う活動」

○本校のフリートークのねらい:

「相互理解を深めたり、共感的に聴く姿勢や心を育んだりすることにより、

コミュニケーション活動の土台となる豊かな人間関係を醸成する。」

本時は、2年生になって4回目のフリートーク。

1回目では、「1年生の時に、フリートークをしてどうだった?」「どんな風にフリートークをした?」「2年生ではどんなフリートークをしたい?」と、1年生での経験を振り返ったり、2年生で目指すフリートークの形や付けたい力について見通しを持ったりしている。

年度当初は、新しい担任・新しい学級の友達とフリートークをするため、「何のため」にするのか目的を確認したり、「どんなフリートークにしていきたいか」と願いや思いを出し合ったりして、学級として大切にしていきたいこと等について確認することを、全校統一で大事にしている。



本時の児童は、①お題の発表、②ペアトーク、③お題提供者のトーク、④みんなでフリートーク、⑤お題提供者の振り返り、⑥みんなの振り返り、⑦先生の話(価値付け)の流れで、4回目のフリートークを行った。本時のお題は「外遊びと中遊び、どちらが好きか?」だった。まずはペアトークで全員が自分の考えを話していた。ペアトークの良さは、話を聞く中で思いついた質問をすぐに聞けることである。そのため、自由に活発に全員がトークできる。みんなでフリートークをする際は、「私は、中遊びが好きです。理由は本を読むことが好きだからです。」「僕は、外遊びが好きです。増やし鬼が楽しくて好きだからです。」と、二択の答えとその理由について述べていた。発表者の考えを全員で聞き、共通点や相違点、新たな発見等を楽しんでいた。



②ペアトーク



④みんなでフリートーク



最後に、担任から「今日のフリートークはどうだった?」「何が楽しかったの?」、さらに写真を提示しながら「Aさんの表情どう?」「なぜBさんは拍手を最後までしてたの?」と、話し手と聞き手の表情や、拍手の価値に目が向くような話があった。学級で目指している「ホッ」とするようなフリートークにするための成果と課題について、児童の担任の言葉と全体で共有していた。

事後研では、担任の振り返りや本校のフリートークのねらいについて確認する時間を全体研でとった後、各学年部で「フリートークを充実させるためにどのように取り組んでいくか」について話し合った。最後に、新しい学級になってフリートークを始める際の流れや留意点について質問をしたり答えたりして、職員全体で共通理解を図ることができた。

